



熊本市立大江小学校

ときめき

2023.3.31(金)

No.169



文責
松永

卒業式 3月23日…119人が大江小を巣立っていきました

3月23日(木)に、令和4年度大江小学校の卒業証書授与式が行われました。これまで学校の中心となって、みんなをリードしてきた6年生119人が、堂々とした姿で式に臨みました。この日の主役である6年生の入場は、少し緊張した様子が見られましたが、子どもたちの表情は、真剣そのものでした。壇上で名前を呼ばれて返事をする姿もとても立派でした。一人一人に声かけをしながら卒業証書を手渡しましたが、「ありがとうございます」と笑顔で返す子ども、まっすぐに見つめる目に決意が感じられる子を目の前にして、私もぐっとくるものがありました。今年度は、感染状況が落ち着いたこともあり、在校生代表として5年生が参加しました。歌う時や呼びかけをする時以外は、マスクをはずすこともできました。ステージ前に並んだ6年生の「卒業の詩」も思いが伝わってきました。お返しの言葉を言った5年生も心がこもっていて、素敵な時間となりました。それぞれが希望をもって、この大江小学校を巣立っていきました。119人のさらなる活躍を心からお祈りいたします。



ご進級おめでとうございます。3月24日(金)

3月24日(金)が、大江小学校の令和4年度を締めくくる1～5年生の修了式でした。通知表ファイルの最後に、「○学年の課程を修了したことを証する」と記された修了証が入っていたかと思いますが、その修了証は、『それぞれの学年で学ばなくてはならない勉強や運動、生活の面などをしっかりと頑張り、次の学年に進むことができますよ。』ということで、『それぞれの学年を卒業しました。』と証明する、大切なものだと、子どもたちには話をしました。今回の修了式は、3年ぶりに体育館に集まって開催しましたので、みんな揃った中で、学年代表の子どもに修了証渡しをすることができました。これまでは、子どもたちの健康・安全を最優先に考えながら取り組んできましたので、子どもたちにも我慢してもらわなければならないことがたくさんありました。でも、ウイズコロナからアフターコロナに向けて、少しずつ「前進」していることが感じられて、ほっとしています。卒業した6年生も含めて、子どもたちは日々よくがんばりました。「未来の自分」を目指して、自分で決めたことを努力したこと、みんなと力を合わせて取り組んだことなど、たくさんの経験をしてきました。そうした積み重ねがあつての修了式でした。これまで力を尽くした分は、確実に自分の力となって身につけているはず。成長した子どもたちの姿にふれると嬉しくなります。おうちの皆さんの思いもきっと同じだと思います。



4月からは、一学年進級、6年生は中学校進学となります。また新たなスタートです。大江小の子どもたちが、これからも「前進」する気持ちを忘れず、活躍の場を広げてほしいと願っています。ご進級おめでとうございます。

